

岡谷市史編さんの推進体制について

R5.3 生涯学習課

1 市史編さんの必要性

岡谷市史(以下「市史」という。)は、これまで上巻(全4編:昭和48年2月発行)、中巻(全5編:昭和51年12月発行)、下巻(全5編:昭和57年3月発行)を刊行し、先人の築いた足跡を明らかにしてきました。最終発刊から40年が経過し、昭和、平成、令和と時代が移り、その間、都市基盤整備や生活環境整備等が行われるなど、市勢の変遷は著しいものがあります。歳月の経過とともに当時を知る方々が少なくなる中で、岡谷市の礎を築かれた先人の功績を記録し、後世に受け継ぐことは喫緊の課題となっています。

2 検討の経過等

市史編さんに関しては、過去から検討を進めてきた経過があり、平成29年度の市議会一般質問において、「岡谷市への理解と愛着を深めるとともに、豪雨災害の教訓を忘れることなく、周年等行政の節目に合わせていく」とする市の考え方を示し、庁内において検討を重ねてきました。

市史編さんにあたっては、市史資料の調査、検証及びそれらを踏まえた研究に相当の時間を要することから、市制施行90周年、100周年の節目に合わせて市史を発刊するためには、早急に事業に取り掛かる必要があります。

3 今後の方針

これらを踏まえ、昭和54年以降の市の歴史を明らかにし、市民の郷土に対する理解と愛着を深めるとともに、記録を後世に伝え、市勢の発展に寄与することを目的に、新たな市史を編さんするため、令和5年度に生涯学習課内へ「市史編さん準備室」を設置し、市史編さんに取り組むこととしました。

令和5年度は、市史編さん準備室において、市史編さん方法等の検討、基本方針(案)の作成のほか、既刊の「岡谷市史 上巻・中巻・下巻」のPDFデータを構築します。

【別紙】

岡谷市教育委員会「市史編さん準備室」の設置について(案)

岡谷市史編さん準備室設置要綱

4 今後のスケジュール(イメージ)

令和5年度 市史編さん準備室の設置(基本方針(案)作成、上中下巻PDF化等)

令和6年度～ 市史編さん室に移行

○市史編さん委員会、専門部会の設置

・市史に関する調査・研究及び執筆

・岡谷市史 上巻・中巻・下巻の追記・補遺

○市民への周知広報、イベントの開催

○市制施行90周年記念の配布物作成

など

*令和8年度 市制施行90周年

*令和18年度 市制施行100周年